

取扱説明書



JQA-QM8678

小型ポータブル洗浄機

SAZ-0607

R00 2012/8



このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

—目次—

安全に使用していただくために	1. 2. 3. 4
各部の名称	5
仕様	6
運転準備	7. 8. 9. 10. 11. 12
運転方法	13. 14.
使用後の取り扱い	15
保守・点検について	16. 17. 18
故障診断	19
無料修理規定	20
スーパーエース高圧洗浄機保証書	21

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。

本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。



誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

- 本書中で  **危険**  **警告** が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。
注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

- なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので 必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。

したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものではありません。

本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。取扱店とよくご相談ください。

⚠ 危険

- ・ 本機は非常に高い圧力水を発生しますので絶対に人、動物、自分の身体に向けて噴射しないでください。この洗浄機は業務用です。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- ・ 高圧水により、人体が負傷した場合、思わぬ事態になっている事が有りますので、早急に医学的処置を必ず行ってください。
- ・ 噴射ガンを噴射する時に高圧水による反動が有りますので両手でしっかりとガン及びランスを握ってください。
- ・ 高所で作業する場合、足場をしっかりと固定して落下防止対策を行い、安全に作業してください。
- ・ 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や設備から1 m以上離して使用してください。
- ・ 本機のまわりに引火物を置かないでください。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- ・ 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
- ・ 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- ・ 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- ・ 分解や改造はしないでください。故障の原因となるばかりか危険です。分解や改造により発生した事故及び故障の責任は負いかねますのでご了承ください。

⚠ 警告

- ・ 過労、病気、薬物の影響のある時、飲酒時、妊娠時は使用しないでください。
- ・ ガン、ランス及び吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- ・ 作業中は、高圧ホースを引っ張らないでください。
- ・ 針金などを使ってガンのレバーを固定するようなことは絶対にしないでください。
- ・ 車のタイヤや下回りを洗浄する際は、ノズル先端から50 cm以上離してください。接近しすぎると車の部品を損傷させ重大事故の原因となることがあります。

 **注意**

- ・ 作業時は安全靴、ヘルメット、防護メガネ、防護服を着用してください。
- ・ 作業中は、高圧洗浄機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- ・ 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- ・ 水道水を使用してください。ゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- ・ 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- ・ 本機使用の推奨温度は0°C~40°Cまでです。吸水温度は最高40°Cまでです。
- ・ ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。0°C以下になる地域では原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。
- ・ 空運転は絶対にしないでください。通常始動後約10秒程度で吸水をします。それ以上(最大1分間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
- ・ 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- ・ 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合な状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機が故障する原因となります。
- ・ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。
- ・ 水道は10L/min以上の供給水量が必要です。適した水源をご使用ください。
- ・ 冷却を妨げる為、本機にシートやタオルを掛けたまま使用しないでください。
- ・ 吐出ホースは伸ばした状態で使用してください。鋭角に曲げたり、踏んだりすると破裂する場合があります。なお、ホースの損傷については保証の対象にはなりません。
- ・ 洗剤は水溶性の物をご使用ください。強酸、強アルカリ、溶剤系の物は使用しないでください。洗剤を使用される際は、必ず洗剤の用法に従ってご使用ください。
- ・ 本機を移動するときは、ハンドルをしっかりとって、段差等に注意して丁寧に扱ってください。

 **危険**

- ・漏電による感電事故を防ぐ為、必ずアースを接続してください。また、漏電遮断器で保護された電源に接続してご使用ください。
- ・アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
- ・ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
- ・ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
- ・本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、高圧水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
- ・電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切(OFF)にし、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

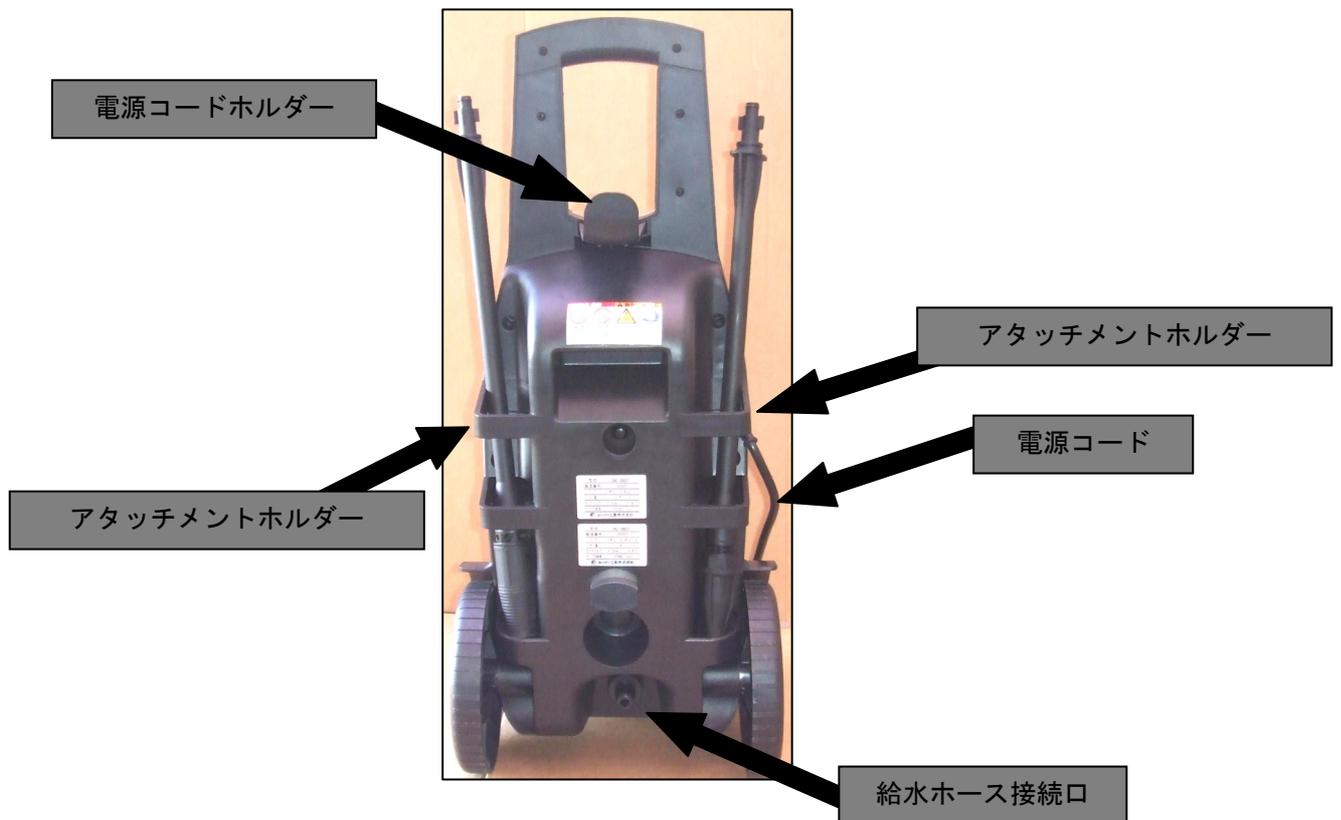
 **警告**

- ・エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
- ・昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。

 **注意**

- ・運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
- ・指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。
- ・電源コードは巻いたまま使用せず、伸ばして使用してください。

各部の名称



仕 様

・主なる仕様

		SAZ-0607
最大吐出圧力		7MPa (71.4kg/cm ²)
最大吐出水量		6L/min
ポンプ	方式	3連アクシャル型
		OIL封入密閉式
モーター	電源	単相100V (50/60Hz共用)
	出力	1.3kW
	定格アンペア	13.5A
	ランニングアンペア	12A
取水方式		水道直結
寸法	全長	310mm
	全幅	300mm
	全高	685mm
	電源コード	4.5m
重量		8kg

性能の向上、改善のため上記仕様を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

・標準付属品

- ・ガン(デッドマン方式、ロック装置付き)
- ・吐出ホース(9.5m)(ガンと一体式)
- ・可変ノズル
- ・トルネードノズル
- ・洗剤インジェクションノズル
- ・給水ホース(2.5m)
- ・給水ホース用ホースバンド
- ・給水用ホースカップラー
- ・ノズル用クリーナピン

運転準備

・使用環境

(1) 電源の確認

- ①電源に感電防止用遮断装置（労働安全衛生規制 第333条及び電気設備基準 第28条 第41条に規定されている装置）が設置されていることを確認してください。（接地線の太さは、1.6mm以上必要です。）
- ②電源に過負荷保護装置が設置されていることを確認してください。

注意

- ・感電防止の為、必ず接地（アース）を行ってください。
- ・接地工事（地中に接地極アース板、アース棒を埋め、接地線を接続するなどの工事）を行う為には、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。
- ・延長コードは、使用しないでください。

運転準備

・給水ホースカプラーの組み付け



1. 付属の給水ホースと給水ホースカプラーを準備します。

給水ホースカプラー



2. カプラーからリングナットを緩めて取り外します。

リングナット



3. 給水ホースにリングナットを通します。



4. カプラーにホースをしっかりと差し込みます。

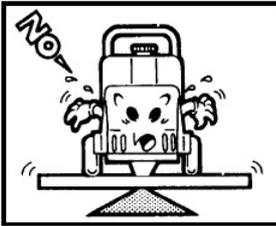


5. リングナットをしっかりと締め付け完全に固定します。



運転準備

・設置



1. 本機を洗浄場所に移動します。
2. 水平な場所で、洗浄作業中に飛散した水などが本機に掛からない場所を選んでください。

注意：本機は立てた状態でご使用ください。
運転中の振動により、床面に機械の跡が残る場合がありますので、必要に応じ養生材を敷いてください。

・給水



1. 供給水量が10L/min以上ある上水道を使用してください。給水ホースを蛇口に接続し、ホースをホースバンドで確実に固定してください。

注意：水道の供給水量が少ないと吐出圧力が十分に上がらない等、故障の原因になります。



2. 給水口のキャップを取り外します。



3. 給水ホースのカプラーを本体の給水口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

給水ホースとカプラーの組み付け方法は「8 ページ 給水ホースカプラーの組み付け」を参照ください。



運転準備

・ホースの接続



⚠ 危険：ガン、ノズルアタッチメント及び吐出ホースなどの接続は緩んだり、外れたりすることのないよう確実に接続してください。

1. 電源スイッチがオフ（OFF）になっていることを確認してください。
また、給水されていないことを確認してください。
2. 吐出ホース接続口のキャップを取り外します。
3. 吐出ホース接続口に吐出ホースをしっかり差し込みます。
4. 吐出ホースのスクリューを時計方向に回し、確実に固定します。
5. 適切なノズルアタッチメントを選択し、しっかりガンに取り付けてください。
取り付け方法の詳細は「12 ページ ノズルアタッチメントの着脱方法」を参照ください。

注意：吐出ホースやガン、ノズルアタッチメントの接続口は清浄に保ってください。泥や砂、異物が付着した状態で接続を行うとノズル詰まり等故障の原因となります。

・電源の接続



⚠ 危険：アースは確実に接続してください。

1. 電源スイッチがオフ（OFF）になっていることを確認してください。
2. 電源コンセントに電源プラグを接続してください。

運転準備



本機には3種のノズルアタッチメントを付属しています。洗浄用途に応じて適切なアタッチメントを選択してください。なお、着脱方法は「12 ページ ノズルアタッチメントの着脱方法」を参照ください。



可変ノズル



1. 可変ノズル

このノズルは、先端のダイヤル操作により、吐出する高圧水を「直噴」から「拡散」に切り替える事が出来る、もっとも用途が広いノズルです。

ダイヤルを右に回すと「直噴」、左に回すと「拡散」に切り替わります。

警告：高圧水に触れると裂傷を負う場合があるので、ダイヤル操作を行うときは高圧水に触れないよう十分注意してください。

注意：ダイヤルを強く回し過ぎると、故障の原因となるので回しすぎに注意してください。



トルネードノズル

2. トルネードノズル

このノズルは、高圧の直噴水を回転させながら吐出させるノズルで、広い面積を洗浄する際に便利です。

注意：トルネードノズルを使用する際は、必ずノズルを下方向に向けて吐出を始めてください。

上方向に向けて吐出を始めると内部部品を早期磨耗させる事があります。



洗剤インジェクションノズル

3. 洗剤インジェクションノズル

ボトルに洗剤を充填し吐出すると、洗剤が混ざって吐出されます。(ボトルの容量は約500CCです。)

高圧洗浄前に洗剤を散布することで、洗浄効果を高めることが出来ます。

注意：必ず市販の中性洗剤をご使用ください。

また、使用する洗剤の用法に従ってください。



①洗剤を充填する時はボトルをしっかり持って、ノズル部分を反時計回りに回し、ノズルを取り外してください。

②取り外したボトルに洗剤を充填してください。

③①と逆の手順でしっかりとボトルを固定してください。

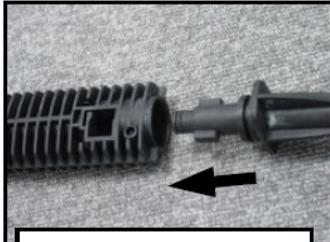
注意：洗剤ボトルノズルを使用後は、ボトル内に残った洗剤を捨てて、ボトルを水道水で濯いでください。少量の水道水をボトルに入れて濯ぎ、ボトル内の水が無くなるまで吐出を行い、ノズル内部も濯いでください。

ボトルやノズル内に洗剤が残ったまま長期保管すると、洗剤が詰まり故障の原因となる事があります。

運転準備

・ノズルアタッチメントの着脱方法

 危険：ノズルアタッチメントや吐出ホースなどの接続は緩んだり、外れたりすることのないよう確実に接続してください。



位置を合わせて差し込む



ノズルアタッチメントを回して固定する。



1. アタッチメントの着脱を行うときは、電源スイッチがオフ（OFF）になっていることを確認してください。また、給水されていないことを確認してください。
2. ノズルアタッチメントとガン双方の接合部分に、汚れや異物の付着が無い事を確認します。汚れや付着物がある場合は必ず取り除いてください。
3. ガンにノズルアタッチメントを押し込み、アタッチメントを時計回りに90度回して固定してください。
4. ノズルアタッチメントを取り外す時は、アタッチメントを反時計回りに90度回し、ガンから引き抜いてください。

参考：ノズルアタッチメントが固着して回らない時は、アタッチメントを一旦ガンに押し込むと、回り易くなります。

運転方法



警告：噴射方向に十分注意してください。

人、動物、電気機器・設備などに向けて吐出しないでください。

吐出ホースやガンからの水漏れは、本機の故障を拡大させるだけでなく、危険を伴う場合があるので、水漏れや異常を感じた場合は直ちに機械の使用を中止してください。

参考：本機にはトータルストップ機能を装備しています。

トータルストップは、洗浄作業中ガンのトリガーを放すと高圧水の吐出を止めると共に、自動的にモーターの作動を停止させ、機械の無用な消耗や電気の消費を抑える機能です。

ガンのトリガーを握ると再度モーターが自動的に作動を始めます。

・高圧水の吐出



1. 蛇口を開き、本機に給水してください。



2. 電源スイッチのオン（ON）を押してください。



3. ガンのロックを外しトリガーを握ると吐出が始まるので、洗浄作業を開始してください。



4. ガンのトリガーを放すと高圧水の吐出が止まります。



警告：作業を中断したり、機械から離れる場合は、必ず電源スイッチをオフ（OFF）して、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。

さらに、ガンのトリガーを一旦握り、内部の圧力を抜いてください。

運転方法

・作業の中断



警告：作業を中断したり、機械から離れる場合は、必ず電源スイッチをオフ（OFF）して、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。
さらに、ガンのトリガーを一旦握り、内部の圧力を抜いてください。



1. 電源スイッチをオフ（OFF）して、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。



2. 一度ガンのトリガーを握り、ポンプ及び吐水ホース内に残っている圧力を抜いてください。



3. 水道の蛇口を閉じ、本機への給水を停止してください。

使用後の取扱い



1. 水道の蛇口を閉じて本機への給水を停止します。
2. ガンのトリガーを握り、ノズルから吐出が止まったら電源スイッチをオフ (OFF) にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。
3. 再度ガンのトリガーを握り、ポンプ及び吐出ホース内に残っている圧力を抜いてください。
4. ガンのトリガーにロックを施してください。
5. 本機から吐出ホースと給水ホースを取り外し、接続口を清浄な状態を保ってください。
6. 本機やホース、ノズルアタッチメントに付着した水滴や汚れは、乾いた布で綺麗にふきとってください。
7. 付属品は本機と一緒に、直射日光が当たらない、乾燥した場所に保管してください。
また、第三者が触れない場所を選んでください。
なお、凍結による故障を防ぐため、氷点下になる場所での保管は避けてください。
万一、氷点下になる場所に保管せざるをえない場合は「18 ページ 不凍液処理」を参照のうえ、不凍液処理を施してください。

保守点検について

本機を末永くご愛用いただくために、毎使用前に以下の点検を行ってください。

 警告：点検やお手入れを行う場合は、必ず電源コードのプラグをコンセントから引き抜いた状態で行ってください。

・外観点検



本機全体を目視し、カバーやシャーシ、車輪等に、亀裂や損傷が無いか点検してください。

また、異物や汚れが付着している場合は、濡れたタオル等で綺麗にしてください。

特に、給水口や吐出口は清浄にしてください。

・ホース類の点検



付属のホースに亀裂や変形、破損が無いことを目視にて点検してください。

亀裂や変形、破損等異常がある場合は、破裂等の危険があるので、使用せず新しいホースに交換してください。

・ガンやノズルアタッチメントの点検



ガンやノズルアタッチメントの外観を目視し、亀裂や損傷が無いか点検してください。亀裂や変形、破損等異常がある場合は、使用せず新しい物に交換してください。

保守点検について

・ノズルの点検



ノズルに異物が詰まっていないか点検してください。



警告：クリーナーピンの先端は鋭利になっていますので、取扱及び保管時は指や手等を刺さないよう充分注意してください。

注意：ノズルの掃除は必ず付属の「ノズル用クリーナーピン」を使用してください。

針金などを使用すると、ノズルを傷付け圧力低下の原因となります。



ノズル孔

1. ノズルアタッチメントをガンから取り外します。
2. 先端から内部のノズル孔を目視し、詰まりが無いか確認します。
3. 詰まりがある場合は、付属の「ノズル用クリーナーピン」を用いて掃除してください。



クリーナーピン

・給水口フィルターの点検

給水口のフィルターが目詰まりしていないか点検してください。



フィルター



フィルター

1. 給水口のカプラーを反時計回りに回して取り外します。
2. 給水口の中に挿入されているフィルターを取り出します。
3. 目詰まりが無いか確認します。
4. 目詰りがある場合は掃除してください。

・長期間（1ヶ月以上）使用しなかった場合には、必ず使用前にフィルターを点検・清掃してください。

保守点検について

・止むを得ず氷点下で作業する場合

1. 前回使用後に不凍液処理を施していない場合、使用前に必ず暖房設備のある暖かい室内に置いて、本体、吐出ホース、給水ホース、ガン及びノズルアタッチメント等を十分に暖めてください。

この時、吐出ホースにひび割れや水漏れがないか確認をしてください。

2. 吐水ホースが弾性を取り戻し、各部の凍結が完全に無くなってから次項「・不凍液処理」の項を参照し不凍液処理を施し、本機を作業現場に搬出してください。

注意：不凍液処理を施さず、氷点下の作業現場に搬出すると凍結します。

3. 作業中は吐出作業を中断しないよう、連続吐出で行ってください。

注意：ホースを含む本機の水経路内が凍結したまま運転しますと、損傷しますので十分注意してください。

・不凍液処理

凍結の恐れがある場所に本機を保管する場合は、必ず以下の手順で不凍処理を行ってください。

注意：本機及びホース等に残った水が凍結すると、これらを故障させる事があります。

1. 5 L程度の希釈した不凍液をバケツ等の容器に準備してください。

(不凍液の希釈はお使いになる不凍液の用法に従ってください。)

注意：不凍液を入れる容器は事前によく洗浄し、砂塵や異物が混ざらないようにしてください。砂塵や異物が混ざると本機に吸い込み故障の原因となります。

2. 水道の蛇口を閉じて本機への給水を停止し、電源スイッチをオフ（OFF）にしてから電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。

3. 水道の蛇口から給水ホースを取り外し、用意した不凍液の容器に給水ホースの先端を入れます。

4. 電源コードのプラグをコンセントに差込み、電源スイッチをオン（ON）にして本機を運転し、不凍液を入れた容器の中に吐出させ不凍液を循環させてください。

不凍液がガンから吐出されるようになったら、数回ガンのトリガーのオン（ON）/オフ（OFF）を繰り返し、約1～2分間循環させたら完了です。

注意：不凍液が飛び散る事があるので注意してください。

5. 不凍液の容器から給水ホースを引き上げ、ガンのトリガーを握り不凍液の吐出が止まったら電源スイッチをオフ（OFF）にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。

6. 「15 ページ 使用後の取扱い」を参照のうえ、本機を正しく保管してください

無料修理規定

本機に異常が見られた時は、次の点をお調べください。それでも異常がある場合にはお買い求めの販売店、もしくは最寄りの弊社営業所までご相談ください。

こんなとき	考えられる原因	その対策
・トリガー（引き金）を握ってもモーターが始動しない	電気が来ていない	電源側のブレーカーやヒューズを点検してください
	コンセントが外れている	電源コンセントに電源プラグを差し込んでください
	電源コードが断線している 本体内部で断線している	点検・修理をご用命ください
・トリガーを戻してもモーターが停止しない	水道の水量が足りていない	水道の蛇口を全開にする ホースリールを使っている場合は、ホースをリールから全て引き出してください 給水ホースが折れたりつぶれていないか点検してください
	ポンプの故障	点検・修理をご用命ください
・水が出ない	給水ホースが繋がっていない	ホースを正しく接続する
	水道の蛇口が開いていない	水道の蛇口を全開にする
	ノズルの詰まり	ノズルを掃除する
・圧力が全く上がらない ・圧力が不安定 ・圧が弱い ・ポンプのノッキング ・吐出ホース及びガンの振動が止まらない	給水口フィルターの詰まり	フィルターの清掃、もしくは交換
	給水ホースの接続が不完全	給水ホースを正しく接続する
	給水ホースのひび割れ	給水ホースを交換する
	ノズルの詰まり	ノズルの清掃、もしくは交換
	ノズルの摩耗	ノズルの交換
	ポンプの故障	点検・修理をご用命ください
・洗剤が吐出されない	40℃以上の温水を使用している	40℃以下の温度にする
	洗剤が空になっている 洗剤が詰まっている	洗剤の補充を行う 洗剤経路内の清掃、もしくは交換
・水が漏れる	各ホースやアタッチメント類の接続が不完全	各ホースやアタッチメント類の接続を確実にを行う
	本体から水が漏れる	点検・修理をご用命ください

無料修理規定

1. 保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。(以下この無償修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不都合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2. 保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内といたします。

3. 保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

- ① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。
- ② 弊社が示す使用の限度を越える使用。
- ③ 弊社が認めていない改造又は変更。
- ④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。
- ⑤ 経時変化による自然変色発錆。
- ⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)
- ⑦ 天災・地震による損傷。
- ⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。
- ⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。
- ② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。
- ③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品。

<ご注意>

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。

スーパーエース高圧洗浄機 保証書

このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容（20 ページ記載）で保証いたします。なお、この
保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番	
保証期間	製品引渡し日より起算し1年間
納入年月日	平成 年 月 日
お客様	ご住所
	お名前
	電話番号
納入店名	住所・店名
	電話 ()

スーパー工業株式会社

- 本社・大阪営業所 大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 3-7
〒566-0052 TEL(072) 653-2721 FAX(072) 653-2354
- 大 阪 工 場 大阪府摂津市鳥飼本町 2 丁目 2-48
〒566-0052 TEL(072) 654-3990 FAX(072) 653-2912
- 東 京 営 業 所 東京都江戸川区中央 4 丁目 15-13
〒132-0021 TEL(03) 3653-2411 FAX(03) 3653-2420
- 名古屋営業所 愛知県名古屋市緑区野末町 208
〒458-0915 TEL(052) 626-3701 FAX(052) 626-3702
- 札幌営業所 札幌市白石区菊水 7 条 1 丁目 1-24
〒003-0807 TEL(011) 823-3661 FAX(011) 823-3666
- 福岡営業所 福岡県粕屋郡志免町別府北 3 丁目 5-8
〒811-2205 TEL(092) 622-6273 FAX(092) 622-6279
- 広島営業所 広島市佐伯区五日市中央 7 丁目 25-23
〒811-2205 TEL(082) 208-4885 FAX(082) 208- 4886
- サービス工場 大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 1-7
〒566-0052 TEL(072) 653-2721 FAX(072) 653-2354
- 沖縄駐在所 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-18-3
〒903-0812 TEL(098) 887-0089 FAX(098) 887-0089
- <http://www.super-ace.co.jp> E-mail: info@super-ace.co.jp